学校番号	411

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編　数学Ｂ（数研出版）						
副教材等	新課程　教科書傍用　3TRIAL　数学Ｂ（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業中の練習問題、問題集の問題は必ず自分の力で解いてください。間違えた問題は、解説を読み、どこで間違えていたのか確認しましょう。また、分からない問題も、解き方を覚えるのではなく、解説の一文一文をしっかり理解しながら読み進めてください。
毎回の授業を大切にし、分からない部分があったらその都度質問して、疑問点を解消してください。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
基本的な概念や原理・法則（公式）などの知識の習得と技能の習熟ができる。
【思考力、判断力、表現力等】
原理・法則を理解し、事象について論理的に考察と表現を行うことができる。
【学びに向かう力、人間性等】
積極的に課題に取り組み、問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身につける。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身につける。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	数列	・等差数列と等比数列 ・いろいろな数列 ・漸化式と数学的帰納法	a：階差数列を利用して，もとの数列の一般項が求められる。漸化式の意味を理解し，具体的に項を求められる。 b：数列の和を記号Σで表して，和の計算を簡単に行うことができる。初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。 c：群数列に興味をもち，考察しようとする。置き換えや工夫を要する複雑な漸化式について，考察しようとする。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出
2	統計的な推測	・確率分布	a：複雑な確率分布の期待値を，確率変数の和の期待値の公式などを利用して求めることができる。 b：確率変数の積の期待値や和の分散と確率変数の性質との相互関係が捉えられている。 c：確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることのよさに気づき，確率分布について積極的に考察しようとする。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出
3	統計的な推測	・統計的な推測	a：母集団分布と大きさ 1 の無作為標本の確率分布が一致することを理解し，母平均，母標準偏差を求めることができる。 b：標本の大きさ n を大きくしたとき，標本平均がどのような分布になるか直感的に理解した上で，標本平均の値がどの範囲にどれくらいの確率で現れるか推測できることを理解している。 c：現実に行われている様々な調査が全数調査か標本調査か，またその方法を採用しているのはなぜかに興味をもち，それぞれの調査の特徴を調べたり考えたりしようとする。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度